

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価標準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	授業中における評価
4	表現力1 的確に表す 表現力2 わかりやすく 述べる	①音読をしよう ②スピーチをしよう ③一枚レポートを書こう ④図書館の利用方法を身につけよう ⑤(書) (硬) 整った文字の秘密を見つけよう (硬・毛) 文字の部分と部分の関係を考えよう [楷書]	12	①聞き手を意識したスピーチを工夫している。積極的スピーチしたり、聞こうとしたりしている。 ②構成を考えたり根拠を明らかにして文章を書いたりすることの必要性に気づき、表現しようとしている。 ③筆者の説明にはどのような工夫があるのかを考えながら読み、自分の考え方や見方を広げようとしている。	①聞き手の反応に注意しながら聞いている。聞いてさらに知りたいこと、分からないことについて質問している。	②集めた材料を分類・整理、取捨選択し、根拠を明確にして書いている。 ③整った文字に内在する整いの要素について理解を深める。漢字の部分と部分が互いに読み合っている字を整理して書くことについて理解を深める。	③図表が文章の部分と関連して用いられているのかを理解し、内容を的確に読み取っている。 ④レポートにふさわしい「書き言葉」を用い、接続する語、指示する語を適切に用いて書いている。 ⑤指示語や接続語に着目して読むと、段落構成が理解しやすくなることに気付いている。	・スピーチの実施 ・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・発言 ・取り組み姿勢	・「一枚レポート」を作成し、感想用紙に記入する。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
5	表現力2 わかりやすく 述べる 理解力1 的確に読み解く	①体験文を書こう ②竹取物語 ③水田のしくみを探る ④宮沢賢治の童話を読む ⑤(言)類義語辞典の活用、(漢)漢字を使いこなそう② ⑥(硬・毛)筆順を味方にしよう、学習を生かそう	20	①日常生活の中から題材を決めて、考えを書こうとしている。 ②宮沢賢治の童話を比べ読みすることを通して読書の楽しさを味わい、読書意欲の喚起へつながっている。		①伝えたい内容が明確になるように段落の役割を考えながら文章を構成している。 ③筆順の意義について理解を深める。 ④字形の整え方に対する理解をさらに深め、学習と生活に生かす。	①三篇の童話を比べ読みし、それぞれの作品の共通点などに着目し、作品の主題について考えを深めることができる。 ②指示語や接続詞などを効果的に用いて書いている。 ③作品に用いられている言葉や表現の工夫に気づき、作品のよさを味わいながら読むことができる。 ④漢字の読み書きについて理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙の記入。 ・意見交換会の実施。 ・発言・取り組み姿勢 ・暗誦テスト	・体験文の作成。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
6	理解力1 的確に読み解く	①空中ブランコ乗りのキキ ②ユニバーサルな心を目指して ③(言)接続語・指示語 (漢)漢字を使いこなそう③漢字の部首と成り立ち ④(書) (硬) 平仮名の書き方を確かめよう (硬・毛) 漢字と仮名を交えて書く方法を見つけよう [漢字と仮名]	14	①「白い大きな鳥」にかかわる表現に着目し、それらがどのようなつながりをもっているかを考え、作品の主題についても考えを深めようとしている。 ②本文における語句の意味を文脈からとらえ、筆者の思いを理解し、自分なりの考えを深めようとしている。		①平仮名の字形と書き方について理解を深める。 ②場面や状況の中で、登場人物がどのように描かれているか確かめながら読み、自分の考えを深めている。 ③表現に即して言葉の意味をとらえ、図表と併せて読むことで、筆者の考えを理解している。	①作品中における比喩表現の技法の意味や使われ方について理解している。 ②辞書的な意味を踏まえながら、思考力や想像力を働かせ、語句の文脈上の意味を理解している。 ③漢字の読み書きについて理解を深める。言葉の特徴やまじり、漢字についての理解を深める。	・ワークシート、感想用紙の記入。 ・発言 ・取り組み姿勢	・感想文の作成。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
7	理解力2 判断して説明する 伝え合う力 ともにわかり合う	①鑑賞文を書こう ②詩三篇 ③この小さな地球の上で ④(漢)漢字を使いこなそう④⑤ ⑤課題図書	12	①根拠や理由を示して述べることの大切さを意識して文章を書こうとしている。 ②詩の内容や感じたことがよく伝わるように、工夫して朗読しようとしている。 ③筆者の考えを踏まえ、自分なりのもの見方や考え方を広げようとしている。		①自分の感じたことが読み手に伝わるように、根拠を明らかにして書いている。 ②詩の内容を理解した上で、自分なりの考えをもち、友達の朗読を聞くことで、更に考えを深めている。 ③読み取ったこと、自分なりに考えたことを、根拠を挙げながら分かりやすく発表している。	①事象や行為などを表す多様な語句の中から、最もふさわしい言葉を選んで用いている。 ②速さや間の取り方、強調等を工夫して、効果的な朗読をしている。 ③文脈上の語句の意味を理解し、内容理解に役立てている。 ④漢字の読み書きについて理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・鑑賞文交換会の実施。 ・朗読発表会の実施 ・取り組み姿勢	・鑑賞文の作成 ・感想文の作成 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
9	伝統的な言語文化 言語文化にふれる	①声に出して、さまざまな作品を読もう ②竹取物語 ③(漢)漢字の字体・画数・筆順 (漢)漢字を使いこなそう① ④(書) (硬・毛) さあ始めよう	12	①音読を通して詩歌に親しもうとしている。 ②文語詩に描かれている情景や心情生活に関心をもって音読しようとしている。古典に描かれている世界を想像しながら、音読練習に意欲的に取り組もうとしている。	①内容を理解しながら音読する。 ②文語特有のリズムを活かした言葉や語法のもつ特徴に注意して音読する	①日常生活で代表的な筆記用紙と、古典の世界を比較しながら読み、話の展開や登場人物の関係等を理解している。	①聞き手に伝わる大きな声でリズム、アクセント、抑揚や切り方を正しく音読している。 ②古典に特有のリズムに慣れ、滑らかに音読している。 ③漢字や字体について理解を深め、生活や学習に生かす。漢字の読み書きについて理解を深める。	・群読発表会の実施 ・ワークシート ・音読、暗唱テストを実施。 ・発言 ・取り組み姿勢	・感想用紙に記入する。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
10	伝え合う力 ともにわかり合う	①中村中推薦図書づくり ③(言)言葉の単位・文節の関係 ④(書) (硬) 漢字と仮名を交えて文章を書こう [漢字と仮名] ⑤課題図書	16	①自分と異なる立場や考え方を尊重しながら、自分の考えを確かなものにしてしようとしている。 ②必要な情報を適切に読み取り、取捨選択し、「推薦図書50」の作成に意欲的に取り組もうとしている。	①相手の意見を踏まえながら話している。相手の発言を聞いて自分の考えをまとめている。	①漢字仮名交じり文を書く方法について理解を深める。 ②それぞれ分担当した本を読み、思いを伝える紹介文を工夫して書いている。 次に読む本を見つけている。	①場内ふさわしい言葉遣い、音量や抑揚を意識し話し合いを進めている。 ②読み取ったことを生かして自分の思いを効果的に伝える紹介文を書いている。 ③漢字の読み書きについて理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・討論会の実施 ・紹介文の作成 ・取り組み姿勢	・紹介文の作成。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
11	思考力1 論理的に考える	①学校案内リーフレットをつくらう ②信頼をつなぐ ③(言)音声のしくみとはたらき単語の類別・品詞 (漢)漢字を使いこなそう⑥⑦ ④(書) (硬) 学習を生かそう [漢字と仮名]	14	①推敲の必要性に気づき、文章をよりよくしようとしている。 ②教科書の図表を参照しながら、筆者の伝えたいことを理解しようとしている。		①書く目的に合うように資料を集めて文章を書き、推敲している。 ②3つのまとまりについて、中核的な部分と付加的な部分を読み分け、分かりやすい見出しを付けている。 ③漢字と仮名を交え方に対する理解をさらに深め、学習と生活に生かす。 ④漢字の読み書きについて理解を深める。	①読み手を意識し、分かりやすい言葉を選んで書いている。 ②文と文、段落のつながりを筆者はどのように工夫しているか理解している。 ③漢字の読み書きについて理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の作成 ・学校リーフレットの作成 ・発言 ・取り組み姿勢	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・学校リーフレットの作成
12	思考力2 多角的に考える	①私のトップニュースをかこう ②タオル ③(漢)漢字の音と訓 ④(書) (毛) 書き初めの練習 ⑤課題図書	11	①根拠を明確にして、読み手を意識したわかりやすい文章を書こうとしている。 ②作品を意欲的に読み、登場人物の心情が伝わるように工夫して朗読しようとしている。		①伝えたい内容が正確に伝わるように根拠の明確さを意識して書くことができる。 ④「書き初め」という伝統的な活動について理解を深めるとともに、これまでに学習した知識・技能を生かして書く。	①多様な語句の中から、ふさわしいものを選んで用いることができる。 ②登場人物の心情を表わす効果的な表現方法について理解している。 ③言葉の特徴やまじり、漢字についての理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・トップニュースの作成 ・取り組み姿勢・発言	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・新聞記事（トップニュース）の作成。
1	想像力 さまざまな見方・考え方を 知る	①「故事成語」を使って書こう ②タオル ③(漢)漢字を使いこなそう⑧ ④(書) (毛) 速く書くと文字の形はどうなるのだろう。行書の特徴を確かめよう [行書]	11	①故事成語の意味を理解し、その内容を生かして文章にしようとしている。 ②作品に表れた作者の考え方について、自分なりの見方や考え方をもちようとしている。		①故事成語の意味や由来を知り、日常生活の具体的な場面と結び付けて文章を書いている。 ④速く書くことによって、文字の形が変わることを理解する。行書の字形上の特徴と、速く書いて読みやすい書体であることの意義について理解を深める。	①漢文特有のリズムを味わいながら読み、故事成語の由来を理解している。 ②擬声語や擬態語、量語等に着目し、主人公の心情が伝わるような朗読を工夫している。 ③漢字の読み書きについて理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・ショートストーリーの作成 ・発言 ・取り組み姿勢	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・書き初め作品提出。 ・ショートストーリーの作成
2	想像力 さまざまな見方・考え方を 知る 言語感覚 言葉の感覚を磨く	①せりふとト書き ②食感とオノマトペ ③(言)効果的な表現方法 (漢)漢字を使いこなそう⑨ ④(書) (毛) 行書の特徴を確かめながら書こう ⑤課題図書	14	①題材を見て、物語の組み立てを工夫しようとしている。 ②オノマトペについて調べたことをもとに、自分の考えを分かりやすくまとめようとしている。		①自分の課題に沿って読んだ本から、必要に応じて引用を加え、分かりやすくまとめている。 ④行書の基礎的な書き方に対する理解をさらに深め、学習と生活に生かす。	①目的に沿って、多様な語句の中から効果的な言葉を選んで用いている。 ②オノマトペが日本語を豊かにしていることを理解している。 ③漢字の読み書きについて理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・鑑賞文の作成 ・レポートの作成 ・取り組み姿勢	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・鑑賞文の作成 ・レポートの作成
3	言語感覚 言葉の感覚を 磨く	①正確に聞き取る ②未来を見つめる ③(言)文脈上の意味と用法 (漢)漢字を使いこなそう⑩ ④(書) (毛) 今年の自分を漢字一字で表そう	10	①聞き取った内容を整理しようとしている。 ②そのための質問をしようとしている。 ③読みやすく分かりやすい表現について考え、文章を推敲しようとしている。	①話される情報を正確に聞いている。 ②自分の考えとの共通点や相違点を理解して聞いている。	②書きたい事柄の中心が明確になるようにして書き、内容を整理して文章を整えている。 ③これまで学習した知識・技能を、場面に応じて適切に運用する。	①話し手の言葉遣いや音量、速さや語の進め方に注意して聞いている。 ②題材として選んだ語句について自分らしいとらえ方を加えて説明している。 ③漢字の読み書きについて理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・意見交換会の実施 ・鑑賞文の作成	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・鑑賞文の作成。

年間合計時数 146

\* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、50%以上がB、50%未満をCとします。

第2学年 国語科年間指導計画及び評価計画

平成26年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）					評価の場面と評価方法	
				国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	授業中における評価	授業後における評価
4	理解力1 的確に読み解く	・日本人はアリスの同類だった ・熟語の構成と意味 ・漢字を使いこなそう ・行書の書き方を確かめよう う[行書]	15	・筆者の考えに対して、共通点や相違点を整理しながら、自分の考えを広げようとしている。	・筆者の考えに対して、共通点や相違点を班の中での話し合い活動で表現できている。	・自分の経験と結び付けながら筆者の思いを作成することができている。	・自分の経験と結び付けながら筆者の思いを読み取っている。	漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 行書の特徴を基礎的な書き方について理解を深める。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・群読会の実施。	・小テストの実施。 ・定期考査出題。
5	表現力2 わかりやすく述べる	・国語辞典の活用 ・卵の立つ話（資料編より） ・壁に残された伝言 ・漢字を使いこなそう	15	・課題の設定の仕方や意見を伝えるための文章の構成や説明の仕方を工夫し考えを述べようとしている。	・古文や漢詩特有のリズムを活かし、言葉や語法のもつ特徴に注意し暗唱ができている。	・事実と意見を読み分け、本文中の内容に基づいて、自分なりの考えを広げてまとめている。	・事実と意見を読み分け、本文中の内容に基づいて、自分なりの考えを広げて読んでいる。	・漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 ・具体的な事実と筆者の意見が、どのような段落構成でまとめられているか理解している。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。	・「私のものづくし」を作成し、感想用紙に記入する。 ・小テストの実施。
6	表現力2 わかりやすく述べる 表現力1 的確に表す	・意見文を書こう ・さまざまな意味 ・プレゼンテーションしよう ・漢字を使いこなそう	15	・筆者の思いや願いを読みとった上で、自分なりの考えを広げ、意欲的に発表しようとしている。	・様々な方法で材料を集め、目的に応じて整理し、資料を作っている。 ・目的や状況に応じて、資料や機器などを活用し分かりやすく説明	・課題に沿って集めた資料を整理し自分の考えをまとめている。 ・意見や立場が明確になるように、構成を工夫して書いている。	・具体的な事実と筆者の意見が、どのような段落構成でまとめられているか理解している。	・漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 ・話す目的にふさわしい話の形態や展開があることを理解している。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・発表会の実施。	・意見文の作成。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
7	表現力1 的確に表す	・読書感想文を書こう ・漢字を使いこなそう 楷書・漢字と仮名・行書	10	・感想や考えが伝わるように工夫して書こうとしている。	・読んだ本の内容について、感じたことや考えたことを表現するためにふさわしい言葉を選んで発表できる。	・自分の感想を、文章の一節を引用したり表現を工夫したりして説明している。	・作品のあらましと登場人物の心情を正しく理解し、場面分けを適切に行って読んでいる。	漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 漢字の整え方、漢字と仮名の交え方、行書の基礎的な書き方を確認する。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・ブックトークの実施。	・感想文の作成。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
9	伝統的な言語文化 言語文化を楽しむ	・枕草子・徒然草 ・漢詩の世界 ・漢字を使いこなそう	11	・多種類の作品に触れて、古文のリズムを身近なものにしようとしている。 ・古典作品に関心をもとうとしている。	・古文や漢詩特有のリズムを活かし、言葉や語法のもつ特徴に注意した朗読をしている。	・古典や漢詩の世界へ興味・関心を抱き、音読練習や「私のものづくし作成」に意欲的に取り組もうとしている。	・傍注を手がかりとして内容を理解し、作者の人間や自然に対する思いを読み取っている。	・漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 ・古文や漢詩特有のリズムを活かし、言葉や語法のもつ特徴に注意した朗読をしている。	・ワークシート、相互評価用紙の記入。 ・音読、暗唱テストを実施。	・感想用紙に記入する。 ・小テストの実施。 ・定期考査出題。
10	理解力2 判断して説明する	・短歌の世界 ・見られる側の言い分 ・漢字を使いこなそう ・行書に調和する仮名の書き方[行書と仮名] ・走れメロス	15	・題材に応じた文章を書き、それを読み合うことを通じて自分の考えを広げようとしている。	・鑑賞文をもとにした、ミニ発表会で意見を述べることができている。	・題材にふさわしい話題を選び、描写や表現を工夫して書いている。	・短詩形文学のよさや特徴を理解し短歌に込められている情景や心情を理解している。	漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 行書に調和する仮名の特徴を整理し、その書き方を理解する。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。	・小テストの実施。 ・定期考査出題。
11	伝え合う力 ともにわかり合う	・パネルディスカッションをしよう ・小さな手袋 ・話し言葉と書き言葉 ・漢字を使いこなそう	15	・一つの問題の様々な立場や視点に触れて、自分の考えと比べながら、話し合いに参加しようとしている。	・異なる立場や考えの人にも分かるように自分の考えをまとめ、相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合う。	・異なる立場や考えの人にも分かるように自分の考えをまとめ、下書き原稿を作成することができている。	・「私」の「シボ」に対する気持ちを読み取り、「私」を視点に書かれている表現の効果について考えを深めている。	漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 漢字と仮名の交え方に対する理解をさらに深め、学習と生活に生かす。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・パネルディスカッションの実施。	・小テストの実施。 ・定期考査出題。
12	思考力1 論理的に考える 書き初め	・辞典を作ろう ・「循環型社会」とは何か ・助詞と助動詞 ・漢字を使いこなそう ・[書き初め]「日進月歩」(行書)「輝く生命」(楷書)	11	・読み手に、事実や事柄を効果的に伝えるため、表現を工夫し書こうとしている。	・書く内容にそって、説明の仕方を書いて材料を集め、整理しながら書いている。	・書く内容にそって、説明の仕方を書いて材料を集め、整理しながら書いている。	・問題提起の文とその答えとなる文に着目して読書することで、筆者の論理展開をとらえている。	・漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 ・助詞や助動詞の働きについて理解し、適切に用いている。 ・「書き初め」という伝統的な活動について理解を深めるとともに、これまでに学習した知識・技能を生かして書く。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・意見文の作成。
1	思考力2 多角的に考える	・蒼いみち ・手紙文を書こう ・敬語の意味と種類 ・漢字を使いこなそう	10	・相手や目的に応じて書いた文章を読み直し、言葉遣いや内容をよりよくしようとしている。	・正しい敬語表現を用い、場面設定の中で適切な使用ができている。	・目的にふさわしい文章にするため語句や表現、形式に注意して書いて読み返し、推敲している。	・作品の表現から、登場人物の心情の推移を理解している。	・漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 ・人物の特徴や情景を表した具体的な表現から、表現の工夫や効果に気付いている。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・書き初め作品提出。
2	想像力 さまざまな見方・考え方を考える	・百人一首・平家物語 ・詩二編 大阿蘇・わたしを束ねないで ・物語を作ろう ・文の成分の順序と照応 ・漢字を使いこなそう	11	・伝えたいことが明確になるように表現の仕方や文章の構成を工夫しようとしている。	・登場人物の生き方について互いの思いを交流し合っている。 ・和漢混雑文の特徴に留意して、なめらかに音読している。	・選んだ絵から場面や登場人物を設定し、展開を考えて物語を書いている。	・時代背景や状況も考慮しながら読み、場面の展開や登場人物の心情を理解している。	・漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 ・読み手に内容が伝わるように、文章の形態や表現を工夫している。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。 ・暗唱テストの実施。	・小テストの実施。 ・定期考査出題。
3	言語感覚 言葉の感覚を磨く	・日本語メガネのかけ替え ・論理を追って聞こう ・この人を語る ・方言と共通語 ・さまざまな熟語の読み ・漢字を使いこなそう	12	・互いの思いを交流し合うことを通じて、詩に対する自分の考えを深めたり広げたりしようとしている。	・詩の内容をとらえ、それを生かした朗読をしている。 ・論理の展開に気を付けて聞き合い自分の考えを深めている。	・伝えたい事実や事柄が正確に伝わるように、具体例の示し方や、説明・描写の仕方などを工夫して書いている。	・本文中に挙げられている具体例から筆者の意図を読み取り、内容をとらえている。	・漢字小テストを実施し、漢字の読み書きについて理解を深める。 ・聞き取りやすい話に必要な語順や語の照応に注意して聞いている。	・ワークシート、相互評価用紙、感想用紙の記入。	・小テストの実施。 ・定期考査出題。 ・意見文の作成。
年間合計時数 140				* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、50%以上がB、50%未満をCとします。						

第3学年 国語科年間指導計画及び評価計画

平成26年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）					評価の場面と評価方法	
				国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	授業中における評価	授業後における評価
4	導入 伝統的な言語文化	①随筆2点 ②おくのほそ道 ③慣用句・四字熟語 ④漢字を使いこなそう①	10	①芭蕉の旅への思いを想像し、選んだ句についての鑑賞文を書き、古典の世界に親しもうとしている。 ②中国の古典をとおして、古典に表れているものの見方や考え方を捉えて、言語生活にいかそうとしている。 ③慣用句の正しい使い方や四字熟語の由来・意味について考えようとしている。 ④伝統や四字熟語に関わる言葉の漢字を読んだり書いたりすることをとおして、自分の言語生活にいかそうとしている。				①作品の背景をふまえて、俳句に描かれた情景につながる地の文の内容を捉えている。 ②中国の古典（漢文）の一節を引用した文章を書いたり読み合ったりして、その言葉の意味の捉え方や用い方の妥当性を確かめている。 ③慣用句を集めたり、四字熟語を使った短文を作ったりしている。 ④伝統や四字熟語に関わる言葉を書いたり読んだりしている。	授業中における評価 音読、観察、暗記の発表、発言	授業後における評価 感想文、定期テスト
5	表現力	①パブリックスピーチをしよう ②「私の友情論」を書こう ③冥王星が「準惑星」になったわけ ④相手意識と敬語の機能 ⑤漢字を使いこなそう② ⑥助詞	10	①話す相手や場の状況にふさわしいスピーチを考えることをとおして、内容や組み立て、言葉遣いを考えて、効果的な話し方について工夫しようとしている。 ②取りあげた問題についての自分の考えを明確にするために、論理の展開の仕方や資料の用い方に注意して、文章の体裁を整えようとしている。 ③科学的な内容を伝えるための文章で、構成や展開、表現の仕方、資料の用いなどがどのように工夫されているかを考えながら読み比べて、書き手の意図と表現の仕方の関わりを考えようとしている。 ④話し相手や話の場面に適切な言葉や表現を考えようとしている。 ⑤表現に関わる言葉の漢字を読んだり書いたりすることをとおして、自分の言語生活にいかそうとしている。	①聞き手の人数や立場をふまえて、適切な言葉遣いを意識しながらスピーチの内容を考えている。自分の表現にいかすために、内容の組み立て方や話し方、言葉遣いについて評価しながら、スピーチを聞き合っている。	②書く目的にそって、自分の考えを述べるためにふさわしい資料を用いて書いている。説得力のある文章になるように、論理の展開や資料の用い方を見直している。	③冥王星が準惑星になった経緯について、根拠や歴史的な経緯をふまえて順序立てて説明している。本文と資料とを読んで、それぞれの文章に表れている社会や自然についての見方や考え方の違いを比べながら考えている。	①相手や場面に応じた言葉遣いや、敬語の適切な使い方を理解している。 ②社会生活で使う言葉について意識しながら言葉を使い、語感を磨き言葉を豊かにしている。 ③天文に関する内容を科学的に説明するために、筆者が論の展開や言葉の使い方を工夫していることを理解して（文章の内容を読み取って）いる。 ④話し相手や話の場面にふさわしい敬語を使って対話をしている。 ⑤表現に関わる言葉を書いたり読んだりしている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト
6	理解力	①「文殊の知恵」の時代 ②猫 ③詩の魅力を伝えよう ④俳句の世界 ⑤国語辞典の広がり ⑥漢字を使いこなそう③	11	①文章の論の展開にしたがって筆者の考えを理解し、自分の体験と結びつけて考えようとしている。 ②登場人物が作品全体の中で果たしている役割について評価して、作品のよさについて考えようとしている。 ③書いた文章を互いに読み合って、情報の活用や文章の構成を評価し合い、自分の文章にいかそうとしている。 ④選んだ俳句について、その句の表現の特徴やよさを評価して、言葉の使い方について考えを深めようとしている。 ⑤国語辞典をさまざまな用途に使うようとしている。 ⑥社会・経済や産業・技術に関わる言葉の漢字を読んだり書いたりすることをとおして、自分の言語生活にいかそうとしている。		③書く目的にそって集めた情報について、さまざまな視点や立場から検討して考えを深めている。	①筆者の主張の根拠や、わかりやすく述べるための論理の展開を確かめながら、内容を的確に理解している。 ②主人公の気持ちの変化を、猫の成長による変化と関連づけて捉え、作品の世界がどのように描かれているかを考えている。 ③解説文を参考に、句切れなどの表現の特徴に注意して音読し、句の内容を理解している。	①「三人寄れば文殊の知恵」という言葉の由来を確かめたり、類似した表現を調べたりして、語感を磨いたり、言葉を豊かにしたりしている。 ②登場人物の気持ちや言動を特徴づけている語句や言葉について、場面や描写にそって理解している。 ③選んだ詩の中の語句や表現について、その意味の微妙な違いを説明している。 ④俳句に用いられている語句の意味や、語句の使われ方について理解している。 ⑤国語辞典を活用してさまざまな課題について調べている。 ⑥社会・経済や産業・技術に関わる言葉を書いたり読んだりしている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト
7	伝え合う力	①企画会議を開こう ②海馬 ③表現につながる文法1 ④漢字を使いこなそう④ ⑤課題図書 芥川龍之介	10	①少数意見を尊重するなど、全体としての話し合いがよりよい結論に至るように意識して、話し合いに参加しようとしている。 ②対談という形式から、話し手が伝えたい内容の中心を理解するためにどのような整理の仕方をすればよいかを考えようとしている。 ③助詞相当の語句を使ったり、文末の表現を変えたりすることによって生じる意味の違いについて考えようとしている。 ④話し合いや日常生活に関わる言葉の漢字を読んだり書いたりすることをとおして、自	①話す目的にそって内容を考え、相手に伝わるように話の構成や資料の提示の仕方を工夫するなどして、効果的に話している。		②対談において、説明の仕方や話の聞き方にどのような工夫や配慮があるかを、確かめながら読んでいる。	①言葉についての知識を広げ、話す目的にふさわしい語句を用いている。 ②対談の中で言い換えをしている言葉について、それがどのようなつながりや効果をうみだしているかを考えながら読んでいる。 ③場面や文脈に適した助詞相当の部句や、さまざまな文末の表現の働きについておおよね理解している。 ④話し合いや日常生活に関わる言葉を書いたり読んだりしている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）					評価の場面と評価方法	
				国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	授業中における評価	授業後における評価
9	思考力	①主張文を書こう ②高瀬舟	10	①文章を書く目的にふさわしい形態・論理の展開・言葉遣いなどに着目して、説得力のある文章とはどのようなものかを考えようとしている。 ②小説に描かれている人の生き方や社会のあり方について、これまでに読んだ本を振り返ったり、新たに読書をしたりして、考えを深めたり広げたりしようとしている。		①社会生活の中から決めた課題について、自分の考えを広げたり深めたりするために、多様な方法で材料を集めたり整理したりしている。	②登場人物の心の「ゆれ」や、他の人物の発言や行動などが与えた影響がどのようなものかを考えながら、作品に描かれた世界を理解している。	①書く目的にそって考えを整理したり説明・説得したりするために適切な語句を選んで文章を書いている。 ②小説に使われている言葉について、それが書かれた時代、人物の描かれ方による用い方や意味の違いを現在の言葉遣いと比べながら、作品を読んでいる。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト
10	思考力	①故郷 ②和語・漢語・外来語 ③漢字を使いこなそう⑤	11	①小説に描かれている人の生き方や社会のあり方について、これまでに読んだ本を振り返ったり、新たに読書をしたりして、考えを深めたり広げたりしようとしている。 ②語種の違いによって生じる伝わる意味の違いを考えようとしている。 ③考えることや自然に関わる言葉の漢字を読んだり書いたりすることをとおして、自分の言語生活にいかそうとしている。			①登場人物の心の「ゆれ」や、他の人物の発言や行動などが与えた影響がどのようなものかを考えながら、作品に描かれた世界を理解している。	①小説に使われている言葉について、それが書かれた時代、人物の描かれ方による用い方や意味の違いを現在の言葉遣いと比べながら、作品を読んでいる。 ②語種の違いをもつ類義語をおおよそあげている。 ③考えることや自然に関わる言葉を書いたり読んだりしている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト
11	想像力	①好きな和歌を紹介しよう ②詩二編（初恋・うちしってんねん） ③理想のロボット	10	①書いた文章について感想を交流し、文章の展開や表現の仕方などについて評価し合うことをとおして、自分の表現をよりよいものになようとしている。 ②それぞれの詩から感じられるよさや特徴をいかにしながら朗読し、作品の理解を深めようとしている。 ③伝わりやすい説明の仕方とはどのようなものか、交流を		①選んだ作品について、情景や作者の心情、作品のよさなどについて感じたことを整理して、紹介する文章を書いている。 ③書く目的にふさわしい言葉の使い方や文章の構成、表現の仕方とはどのようなものか、交流をとおして確かめている。	②二つの詩に共通することと相違することを整理し、表現の仕方の特徴が、詩の内容とどう関わっているかを考えながら読んでいる。	①作者の立場や作品の背景となる状況をふまえて、作品に描かれた情景や作者の心情に親しんでいる。 ②詩に用いられている象徴的な文語や方言の持つ表現効果を理解している。 ③伝えたい内容が明確に伝わるように慣用語・四字熟語、和語・漢語・外来語などを適切に用いている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト
12	想像力	①言葉の現在・過去・未来 ②中国の古典の言葉 ③漢字を使いこなそう⑥ ④書き初め	8	①現在ゆれが生じている言葉や使われなくなった死語を探そうとしている。 ②比喩やつながりに関わる言葉の漢字を読んだり書いたりすることをとおして、自分の言語生活にいかそうとしている。				①言葉の変化やパターンについてまとめている。 ②比喩やつながりに関わる言葉を書いたり読んだりしている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト
1	言語感覚	①対話劇を体験しよう ②「ありがとう」と言わない重さ ③大切な言葉で編む ④百人一首	9	①対話劇を演じたり聞いたりすることをとおして、自分たちの話し言葉を振り返り、目的・相手・場面などに応じた話し方について考えようとしている。 ②筆者のものの見方や考え方を理解し、言葉とその背景にある文化について、話し合いをとおして考えを深めようとしている。 ③アンソロジーをつくることをとおして、意図や目的が読み手に伝わるように表現の仕方を工夫しようとしている。	①人物の立場や人柄、心理などと、せりふに用いられている言葉や話し方との関係に注意して対話劇を聞いている。	③書く目的にそって、さまざまな方法で集めた材料を整理して、ふさわしい文章の形態や構成を考えて編集している。	②三つの感謝の表現の違いについての筆者の見方や考え方を読み取って、その見方や考え方について根拠をもって評価している。	①相手や場面に応じた適切な言葉や話し方があることを理解している。 ②「ありがとう」、「パヤルララー」、「サンキュー」がそれぞれどのような語感をもち使われているかを比べて、言葉の伝わり方について考えている。 ③選んだ言葉を手がかりにさまざまな言葉に触れることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト、書き初め作品提出
2	言語感覚	①表現につなげる文法2 ②漢字を使いこなそう⑦	9	①自動詞と他動詞による文の意味の違いや、異なる副助詞を使った文の意味の違いについて考えようとしている。 ②慣用語に関わる言葉の漢字を読んだり書いたりすることをとおして、自分の言語生活にいかそうとしている。				①自動詞と他動詞による文の意味の違いや、異なる副助詞を使った文の意味の違いについておおよそ理解している。 ②慣用語に関わる言葉を書いたり読んだりしている。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト
3	言語感覚	①春の教え方のくいちがい？ ②卒業文集を書こう	7	①自然界で起きていることをどう捉えるかという問題から、人間と自然との関わり方について考えようとしている。			①筆者が「春の教え方」という表現で自然のなかで行われている営みを表現している意図を読み取って、その見方や感方が方について根拠をもって評価している。	①昆虫と小鳥との間に生じる「くいちがい」などの、自然界の現象を表す言葉の使われ方から、語句の用い方が論の展開にどのような効果を生んでいるかを理解している。	観察、黒板での発表、発言	感想文、定期テスト

年間合計時数 105

\* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、50%以上がB、50%未満をCとします。